


森中だより

厚木市立森の里中学校1月1日現在
 1年生 68名
 2年生 65名
 3年生 51名
 全校 184名
 発行責任者 平井 真澄
 TEL (046) 248-0727



HP <http://www.edu.city.atsugi.kanagawa.jp/morinosato-js/>

「飛躍の春に向けて」

学校長 平井 真澄

2018年を迎えました。年末年始も大きな事故等なく、元気に笑顔で新年のスタートを切ることができました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、3年生は、入試を目前にひかえ、あとは自分が選択した道を突き進むのみとなりました。「未来への進路選択考える己の道信じこの道を行く」「こつこつと努力してきた道のりの次のステップ進む勇気を」等、森中檀歌にも、一人一人の入試に懸ける志がよく映し出されています。学校ホームページで紹介しておりますので、是非ご覧ください。2年生は、あと3か月で、いよいよ最高学年です。森中の更なる創造と発展を築く責任を受け継ぎます。そして1年生もすっかり立派な中学生になりました。4月からは先輩と呼ばれる立場になります。共に、十分な力を蓄え、新入生を迎えられるよう踏ん張りどころの3学期です。自分に打ち勝つ真の先輩の姿を期待します。



また、始業式では「挨拶」の話しをし、「心をつなぐ挨拶」を2018年の目標として掲げました。その後、部活動の表彰が行われ、新年早々行われたテニス部1年生厚愛大会において、2位・3位を収めた1年生4名の披露をしました。成果はもちろんですがそれ以上に素晴らしかったのは、彼らが表彰の際に示してくれた「挨拶」でした。返事・礼・挨拶と、この所作は一夜漬けでは身につけません。日頃の生活習慣で身につけている彼らの自然な挨拶に、全校生徒の心も和み、すがすがしい3学期の幕開けができました。

さらに、感心した出来事がありました。それは書き初めです。自分が選んだ字に込めた思いを發表し合い、互いの想いを共有しあう發表があり、これは互いを讃え合う集団の土壌あってこそと感心しました。

生徒たちは学級や学年という一集団の中で、切磋琢磨しながら成長し、その姿は目を見張るものがあります。自分も集団の中のかげがえのない一人であり、全員が大切な仲間の一一人ひとりであることを実感することは大変意味のあるものです。

「学校は人が育つ場」であり、人は人とのつながりの中で自己の存在を確認していきます。思い通りにならない人間関係や集団生活の中で、人は心の強さを磨いていきます。心の強さは日々の様々な体験・経験の中で育っていくものと、常々思うところです。今学期も日々の様々な体験・経験を通して、想いや考えを伝え合える関係性を深め、互いを知り認め合うことで、社会を生き抜く力を蓄えてほしいと願っています。

本年も、一人一人の健やかな成長を願い、さらに飛躍した年となりますよう、保護者・地域の皆様とともに、教育活動を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

いのちの学習 ～総合的な学習の時間～

1月17日(水)の総合的な学習の時間に1、2年生が「いのちの学習」を行いました。

1年生は『生命誕生(尊重)』で、DVDを鑑賞し、奇跡の存在の自分に気づくと共に、自他の命の大切さを話し合いました。また、2年生はロールプレイを通して『男女の対等な関係』について考え、自分や相手の心と体を守ることの大切さを理解し、自分の気持ちと相手の気持ちを尊重した適切な行動について学びました。



校内書き初め展

1月9日(火)、冬休みの課題であった「書き初め」を各教室に掲示し、1年の始めの抱負・意気込みを表明しました。

作品から一人ひとりの気持ちが伝わり、見ていると心新たにになります。

入賞作品は25日からアミュー厚木のアートギャラリー(5階)に展示します。



除草作業

1月10日(水)、「おやじのたまり場」の皆さん22名が、校庭南側外斜面の草刈および剪定をしてくださいました。今年度3回目の作業をありがとうございました。



作業後の校庭南側外斜面

【1月の主な予定】

- 23日(火) 新入生見学会
- 24日(水)～ 私立高校入試出願
- 29日(月) 公立高校入試出願
- 30日(火) 1年生職業講話

【2月の主な予定】

- 7日(水) 新入生保護者説明会
- 10日(土)～ 私立高校一般入試
- 14日(水) 公立高校入試(筆記)
- 15日(木) 公立高校入試(特色検査等)
- 16日(金) 公立高校入試(特色検査等)
- 22日(木) 学年末テスト
- 23日(金) 学年末テスト



森中歌壇

三年生 受験に向かう心
 ・極寒の受験の冬を乗り越えて
 先に待つのは桜と信じて
 ・急ぎ足季節は素早く駆け巡る
 止まらぬ時間に不安が募る
 ・バス降りて寒空の下帰宅する
 凍える身体おかえりの声
 ・冬休み同じことの繰り返し
 うんざりなんて言っちゃいけない
 ・お守りの鉛筆握り志す
 短くするぞたくさん書いて
 ・誘惑に負けずと誓ったあの日から
 ぼくはゲームをしませんよ